

2019年4月23日

**電通、企業の健康経営を支援する「Fitbit Inner Activation Program」を開発**  
**— 従業員の運動習慣や睡眠の質向上、企業内コミュニケーションの活性化を支援 —**

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：山本 敏博）は、フィットビット・ジャパン合同会社※<sup>1</sup>（本社：東京都渋谷区、カンントリーゼネラルマネージャー：千川原 智康）の協力により、フィットネスウェアラブルデバイスから得られる従業員の活動データを活用して、健康経営を支援する「Fitbit Inner Activation Program」（フィットビット・インナー・アクティベーション・プログラム）を開発しました。

本プログラム開発の背景には、働き方改革や睡眠時間に対する意識の高まり、企業と従業員の関係性の変化に伴う企業内コミュニケーション需要の拡大があります。

当社は「バイタリティデザインプロジェクト」※<sup>2</sup>の一環として Fitbit を実際に導入※<sup>3</sup>しており、その活用を通じて得た知見と、顧客企業のイノベーション創出を支援する社内専門組織「電通ビジネスデザインスクエア」が培ってきたノウハウを掛け合わせることで、健康経営や企業内コミュニケーションの活性化に資する本プログラムの開発に至りました。

「Fitbit Inner Activation Program」は、日々のアクティビティや睡眠時間、心拍数などをトラッキングできる Fitbit デバイス、そこから得られる従業員の活動データを集約する「Fitbit Group Health」を活用し、専用アプリを通じて各種フィットネスコミュニティへの参加、運動習慣の増加や睡眠の質向上などに寄与します。さらに、企業内コミュニケーションの活性化、複数企業間での情報交換やコミュニティ形成、平均歩数の競い合いなど健康経営推進のためのデジタルイベントの実施も容易に実現できるようになります。

今後、当社は本プログラムを通じて、健康経営を支援し、社内外コミュニケーションを活性化するサービスをワンストップで提供してまいります。

■ 「Fitbit Inner Activation Program」可視化イメージ

Fitbit Activation Programでは**8つのサービスライン**で  
 実機購入～独自システム開発までをトータルでサポート。



- ※1 フィットビットは、フィットネスウェアラブルデバイス分野のリーダーとして、人々が目標に到達できるようにデータ、インスピレーション、ガイダンスを提供し、より健康でアクティブな生活の実現をサポートしています。詳しくは <https://www.fitbit.com/jp/home> をご覧ください。
- ※2 当社の「バイタリティデザインプロジェクト」は、社員個人や組織における「バイタリティあふれる状態」を持続的に実現し、社員のグッドコンディションを業務品質の向上へつなぐ取り組みです。
- ※3 当社では 2017 年 11 月より Fitbit の導入を開始し、これまでに約 3,000 名の社員に Fitbit 実機を配布、健康意識の改善に向けた施策を行っています。これまでに得られたデータからも、社員の運動習慣の増加や睡眠の質に対する意識の向上、社内コミュニケーションの活性化に役立つことを実感しています。

以 上

**【リリースに関する問い合わせ先】**

株式会社電通 コーポレートコミュニケーション局 広報部  
溪、山口 TEL : 03-6216-8041

**【サービスに関する問い合わせ先】**

株式会社電通 電通ビジネスデザインスクエア  
小島、鈴木 Email : [Fitbit\\_b2b@list.ryden.co.jp](mailto:Fitbit_b2b@list.ryden.co.jp)